

7782 ^{kuraku}久楽 東海道 53次：興津宿 308

.....



山はみどり 野に花 人にはこころ

東海道 53 次の 17 番目の宿場町、^{おきつじゆく}**興津宿**。興津氏が、宿の長者として一帯を支配した。

江戸時代 1601 年—**宿駅伝馬制度**により興津宿駅が制定された由。

フリー百科事典によれば、南北朝時代から戦国時代まで、1345 年、一国ごとに

安国寺利生塔が建てられ、駿河國の寺は、承元寺に定め、塔は、清見寺に建てる。興国禅寺に成る。いささか難しいので、お調べ下さい。

